



北海道支部だより

2026年8月号 Vol. 26-1

令和8年度・第35回 環境測定分析技術研究会発表会開催報告 @支部事務局

北環協、日環協北海道支部の年次事業として開催されております「環境測定技術研究会発表会」は平成4年に始まり、今年度で35回目となりました。今年度も会場参加とWeb参加を合わせたWeb方式での開催となりました。会場参加48名、Web参加32名の皆様にご参加いただき、無事開催することができました。

☆第35回 環境測定分析技術研究会発表会 プログラム

- 開催日：令和8年 7月31日(金) 15:00～
- 場所：札幌サンプラザホテル（札幌市北区）
- 参加状況：発表会参加 48名（事業所、関係者含む）

【発表内容】

発表テーマ	発表者	所 属
「LC-ICP-MSによるクロム形態別分析法の検討」	沢口 愛香 氏	一般財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
「OCRを利用した濃度計量証明書控えの整理について」	諫山 朋直 氏	環境コンサルタント株式会社
「ばい煙測定における異常値発生時の原因調査フローの作成」	後藤 汰一 氏	株式会社 北炭ゼネラルサービス
「「苦情案件」対応の心得」	宮坂 啓樹 氏	野外科学株式会社

今年度の発表会は、冒頭の通り多くの参加者をお迎えすることができました。前回開催時（会場参加 53 名、Web 参加 25 名）には「この 20 年ほどで最多の参加人数」とお伝えいたしましたが、今回はそれをさらに上回る規模での開催となりました。

ご参加いただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

今回は、全 4 名の発表者のうち 3 名が若手技術者によるご登壇でした。しかしながら、どなたも若手とは思えないほど落ち着きと自信に満ちた発表姿勢であり、質疑応答にも堂々と対応されている姿が大変印象的でした。発表者の方々にとっても、今後の飛躍につながる貴重な経験と大きな自信を得る機会になったものと確信しております。

また、大ベテランによるご発表（演題 4）では、確固たる測定・分析技術に基づき、その川上に位置する発注者に対する「究極の技術」をご披露いただきました。ご参加いただいた中堅技術者の皆様にとっても、教科書には載っていない実践的な知見を得る貴重な機会となったことと存じます。

最後になりますが、お忙しいところ準備をしていただきました発表者の皆様、本発表会にご支援・

ご協力を頂きました会員の皆様、企画運営いただきました北環協事務局、実行委員、運営委員の方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

☆発表会の様子



北海道環境計量証明事業協議会
会長 三津橋 浩行 氏 ご挨拶



(一財) 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
沢口 愛香 氏



環境コンサルタント(株)
諫山 朋直 氏



(株) 北炭ゼネラルサービス
後藤 汰一 氏



野外科学(株)
宮坂 啓樹 氏



座長



会場の様子



☆交流会会場の様子



(一社) 日本環境測定分析協会北海道支部
支部長 柴田 陽介 氏 ご挨拶



北海道環境計量証明事業協議会
委員長 佐藤 智行 氏 ご挨拶



交流会の様子